

○堤外地における避難誘導計画の策定に向けて検討中。  
 ○伊勢湾口GPS波浪計の設置位置決定。港湾管理者等への観測情報の提供方法について検討中。

基本方針	主な取組状況	今後の取り組み
<p><b>《避難誘導計画》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤外地の企業従業員及び外来者等の避難誘導計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤外地における避難誘導計画の策定に向け検討中（自治体等）</li> <li>・「津波・高潮対策における水門・陸閘等の管理システムガイドライン」の見直しに向けて検討中（国交省・農水省）</li> <li>・「港湾の避難対策に関するガイドライン」の策定に向けて検討中（国交省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤外地における避難誘導計画の策定（自治体等）</li> <li>・新たな管理システムガイドラインの地域展開（中部地方整備局）</li> <li>・「港湾の避難対策に関するガイドライン」の策定（国交省）</li> </ul>
<p><b>《GPS波浪計》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPS波浪計を活用した情報提供システムの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾口GPS波浪計の設置位置決定</li> <li>・通信網等の強化実施中（発電機増設、回線多重化）</li> <li>・GPS波浪計の観測情報の有効な提供方法について検討委員会を設置し検討中 (以上、中部地方整備局)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾口GPS波浪計の試験運用開始(H25.7予定)</li> <li>・GPS波浪計の観測情報の効果的な提供</li> <li>・避難に係る情報提供システムの強化に向けた検討 (以上、中部地方整備局)</li> </ul>

### 取組スケジュール

	平成24年度	平成25年度以降
<b>避難誘導計画</b>	避難誘導計画の策定に向けた検討	
	水門・陸閘等の管理システムガイドラインの見直しに向けた検討	新たな管理システムガイドラインの地域展開
	港湾の避難対策に関するガイドラインの策定に向けた検討 (H25.夏)	
<b>GPS波浪計</b>	GPS波浪計の設置 (H25.7 設置予定)	
	沖合波浪観測システムの利活用検討	
	港湾管理者等への観測情報の提供に要するシステム改良	検討に応じて、沖合波浪観測システムの改良

# 《避難誘導計画》 津松阪港の避難誘導計画策定について



津波避難ビル	
A	松阪ショッピングセンター マーム
B	済生会松阪総合病院
C	丸亀ビル
D	アビタ松阪三雲店
E	大西病院
F	東部カントリーエレベーター
G	紀勢国道事務所
H	JA一志東部旧米ノ庄支店
I	亀井ビル
J	松和自動車学校
K	フレックスホテル
L	ホテル ザ・グランコート松阪
M	ホテルAU松阪
N	エースイン・松阪
O	松ヶ崎小学校
P	米ノ庄小学校
Q	港小学校
R	鎌田中学校
S	第四小学校
T	西黒部小学校
U	東黒部小学校
V	機殿小学校
W	朝見小学校
X	天白小学校
Y	三雲中学校
Z	松阪市リサイクルセンター

# 《避難誘導計画》 水門・陸閘等管理システムガイドラインの見直し

## 目的

海岸管理者が水門・陸閘等の操作に従事する者の安全の確保を最優先とした上で、水門・陸閘等の操作を確実に実施できるよう、現行の「津波・高潮対策における水門・陸閘等管理システムガイドライン」(平成18年3月)を改訂する。

## 検討体制

(水門・陸閘等の効果的な管理運用検討委員会)

有識者、海岸管理者等、消防庁、農林水産省(農村振興局)、水産庁、国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局(主務))

## 検討スケジュール

- 今年3月にガイドラインを改訂予定。
- ガイドライン改訂後は説明会を実施するなど周知徹底に努め、操作従事者の安全の確保等を図る。

## 現状・課題

### 【管理体制の構築】

- ・水門・陸閘等の管理運用について、約8割が委託・再委託されており、施設管理者と委託契約書を取り交わしていない事例もある
- ・操作者一人当たりが担当する水門等の数が過大の可能性
- ・海岸管理者アンケートより、課題として「避難指示の内容・時期」、「連絡手段等」が挙げられている

### 【自動化・遠隔操作化の促進】

- ・想定津波到達までに閉鎖が間に合わない施設が約2割ある
- また、自動化・遠隔操作化等がされている水門・陸閘等は約1割に止まっている

### 【常時閉鎖・操作の簡素化等】

- ・比較的小規模の陸閘が多く配置されている場合、津波到達までに全ての陸閘等を閉鎖できない可能性がある

## ガイドライン改訂方針

### 【管理体制の構築】

- ・「管理委託に当たり、委託関係を明確にすべき等の留意点」を追記
- ・「現場での判断基準をあらかじめ明確にし、危険な場合にはルールに従い避難しなければならない」旨を追記 等



自動化・電動化されている陸閘の例

### 【自動化・遠隔操作化の促進】

- ・管理システム改善案の作成フローを追加し、具体的な検討を行いやすいように配慮
- ・「電源のバックアップ対策が必要な施設を抽出する際は、人力操作が難しい施設かどうか等に留意すべき」と追加 等

### 【常時閉鎖・操作の簡素化等】

- ・管理システム改善案の作成フローを追加し、具体的な検討を行いやすいように配慮
- ・統廃合・常時閉鎖のパターン(単純な埋め戻し、埋め戻して階段・スロープを追加等)を具体的に例示 等

# 《GPS波浪計》 GPS波浪計による津波観測網の整備

## 平成24年度の対応状況

- 新たに設置する伊勢湾口GPS波浪計の設置位置を決定
  - 平成25年7月設置予定
- 通信網等の強化を実施
  - 発動発電機の増設による長時間停電時への対応
  - 衛星通信回線の増設によるデータ伝送回線の多重化
- 沿岸地域の防災力向上を目的としたGPS波浪計の利活用方策を検討
  - 学識経験者、専門家及び関係行政機関からなる「沖合波浪観測システムの利活用に関する検討委員会」を開催

## 伊勢湾口GPS波浪計の設置位置決定

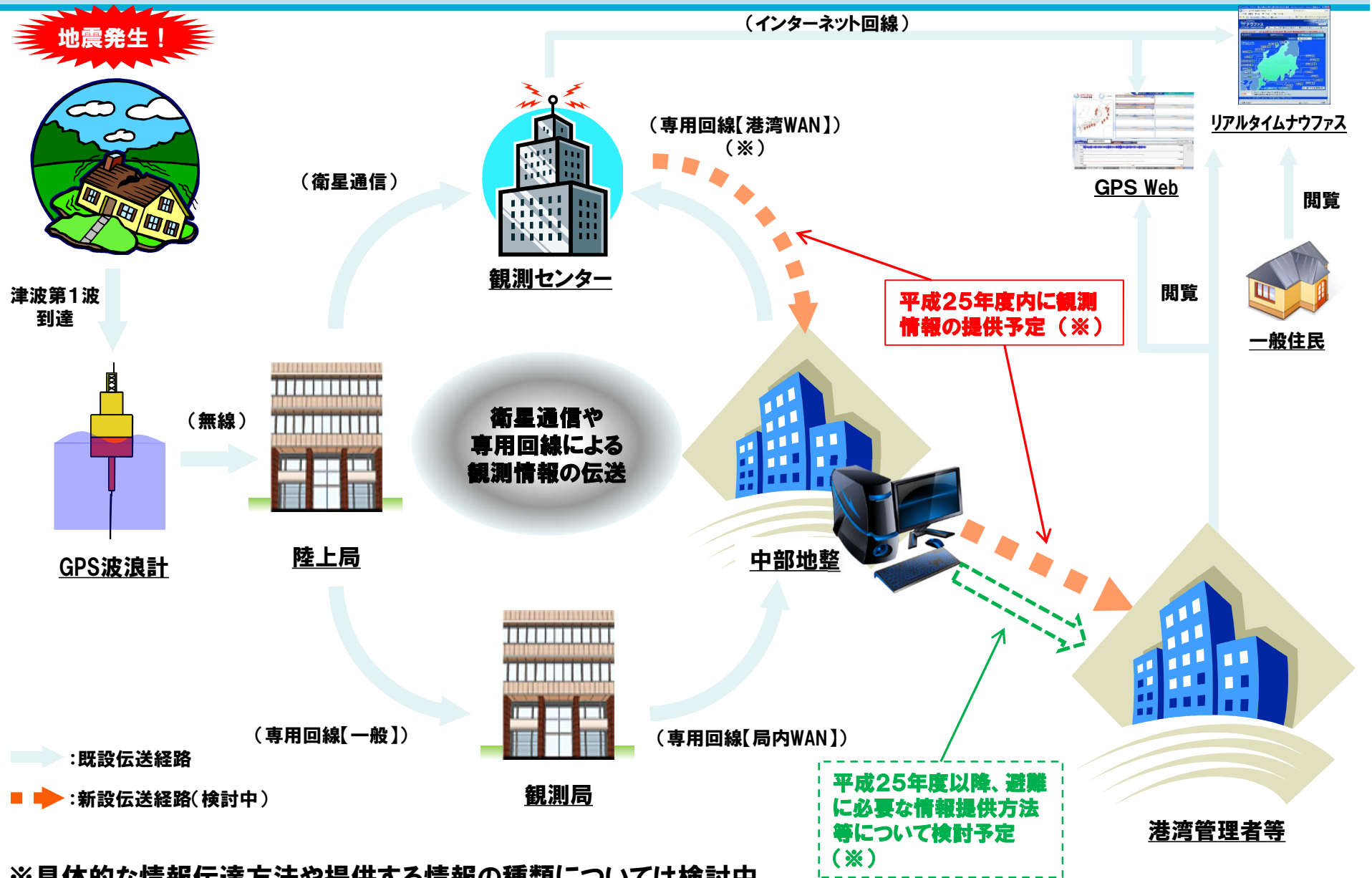


## 沖合波浪観測システムの利活用に関する検討委員会

### 検討状況

- 第1回委員会（平成24年12月26日開催）
  - 沿岸地域における津波防災を目的にGPS波浪計の観測情報に求める港湾管理者等のニーズ把握
- 第2回委員会（平成25年3月15日開催予定）
  - 第1回委員会での意見を踏まえた、GPS波浪計の観測情報の提供方法や提供イメージ等の提示

# 《GPS波浪計》 沖合波浪観測システムによる観測情報の提供イメージ



※具体的な情報伝達方法や提供する情報の種類については検討中。

平成25年3月15日(金)に開催する学識経験者・専門家・行政機関等から構成する「第2回沖合波浪観測システムの利活用に関する検討委員会」にて案を提示し意見を伺う。